

保育あき友

V o 1.68

題字：故 小畑勇二郎 書（秋田県知事）

令和 7 年 3 月 31 日

● 巻頭言

「令和 6 年度を振り返って」

秋田県保育協議会

会長 大友 潤一

● 情報提供

秋田県教育庁幼保推進課 課長 新号 和政

聖園学園短期大学 准教授 猿田 興子

秋田県立医療療育センター 小児科

センター長 矢野 珠巨





令和6年度を振り返って

秋田県保育協議会
会長 大友 潤一

平素は当会の運営にご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。

今年もまた「保育あきた」に寄稿する時期がきました。1年が終わると思うとに少ししみりした気持ちになります。年長児との別れを実感するからでしょう。毎年のことながら寂しさを拭えません。

今年度も様々なことがありました。今盛んに検討されている「こども誰でも通園制度」。令和6年6月に成立した子ども・子育て支援法等の一部を改正する法律により、月一定時間までの利用可能枠の中で、就労要件を問わず時間単位等で柔軟に利用できる新たな通園給付として、こども誰でも通園制度が創設されました。【R7.4.1 制度化、R8.4.1 給付化】令和7年度には法律上は制度化されるのですが、その年末までに方針を決めるというのは、令和7年度から事業を始める施設には、方針が明示されないということになります。これまでの検討会や会議の中で、金額や実施形態、設備運営基準、一時預かり事業との違いなど情報として公開はされていますが、令和8年の給付制度での実施に向けてまだまだ課題は山積しております。こども誰でも通園制度総合支援システムというものも見ましたが、そんなに言うほど簡単ではないだろうというのが感想です。こども家庭庁はどこまで現場の声を聞いて理解し制度化しようとしているのか疑問です。私の園では対応できません。一般型では保育士がおりません。障がい児保育の対象となる園児が増えそうで、加配保育士の確保も儘りません。有難いことに定員を超えた入園児がおりますので、余裕型での対応は不可能です。利用者の数にしても大都市と過疎地では次元が違います。いずれにしても自園の状況と国、自治体の動向を見て判断することが必要だと思います。

過去にない大きな率の人勧が発表されました。言うまでもなく全て人件費として支出しなければなりません。処遇改善費に至ってもその通りです。令和4年の人事院の会議で、処遇改善費が適切に使われていないとの指摘があり、その流れで「見える化」の話になりました。この話の意味を理解されている理事長、施設長がどのくらいいらっしゃるのか、仮に不適切な支出偏った支出と見なされた場合どんな指導が入るのか、このことはあまり騒がれていませんが私は注視しております。

県政を司る知事を決める動きが活発化してきました。秋田県のこどもや子育て支援にどのくらいお金を使ってくれるのか、新たな制度を創設してくれるのか、スピード感をもって動いてくれるのか、しっかりと見極めていきたいと思っております。政治的な活動は一切致しませんが、「啐啄同時」今まさに好機だと思っております。

令和6年度、組織活動にご尽力くださった全ての方に深謝申し上げ、振り返りといたします。



こどもまんなか社会の実現に向けて

秋田県教育庁幼保推進課
課長 新号 和政

「保育あきた」第68号が発行されますことを心よりお祝い申し上げますとともに、発行に当たりご尽力されました関係者の皆様方に深く敬意を表します。

また、本県の子どもたちの健やかな成長のために、日頃から保育事業にご尽力くださるとともに、県の就学前教育・保育施策に特段のご理解とご協力をいただいております。心から感謝申し上げます。

さて、国においては、「こどもまんなか社会」の実現に向けて、こども施策を総合的に推進するための「こども大綱」や、こども・子育て支援の抜本的な強化を進めるための「こども未来戦略」を策定し、新たな施策の開始や既存施策の改善等に取り組みながら、乳幼児期の教育・保育の質を向上し、一人一人の子どもの健やかな成長を支えていくこととしております。

とりわけ、令和6年度末が終期となっている「新子育て安心プラン」後の保育提供体制については、令和7年度から令和10年度末を見据えた保育政策の新たな方向性を示しており、過疎地域の保育所等における定員充足率の低下などを課題と捉えて、これまでの待機児童対策を中心とした「保育の量の拡大」から転換を図り、「地域のニーズに対応した質の高い保育の確保・充実」、「全てのこどもの育ちと子育て家庭を支援する取組の推進」、「保育人材の確保・テクノロジーの活用等による業務改善」の3つを政策の柱に掲げてこども施策を推進するとしております。

具体的に令和7年度からは、人口減少地域における保育機能の確保・強化に向けた取組を複層的に進めるほか、公定価格において1歳児の保育士等の配置改善を図ることとしております。また、「こども誰でも通園制度」を法定化して始めるとともに、民間給与動向等を踏まえた処遇改善やそれに伴う経営情報の継続的な見える化等を進めることとしております。

県では、こうした国の施策を見据えつつ、当事者となる子どものほか、貴会をはじめとする関係団体や関係者、県民の皆様からの意見等を反映して「秋田県こども計画」を策定し、令和7年度からの5カ年において国や市町村と一層の連携・協働を図りながら、本県の実情に即した「こども施策」を計画的に推進することとしております。

本計画の中でも施策の柱となる「こども・若者が健やかに成長できる環境整備」において乳幼児期のこどもの成長の保障と遊びの充実を図っていくためには、貴会員の皆様が果たす役割はますます重要になってくるものと考えております。

また、本計画の策定に当たり意見等のあった障害児保育や保育士確保等への課題に関しては、貴会の協力を得てその実態を把握するための調査を行ったところであり、今後は調査結果に基づき市町村や貴会との意見交換等を通して、その改善等に取り組みながら持続可能で質の高い教育・保育を通じた「こどもまんなか社会」の実現を図ってまいりたいと考えておりますので皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。



「いいこと♪いいこと♪考えた!」

聖園学園短期大学
准教授 猿田 興子

令和6年度末、各園も修了時期を迎え慌ただしい季節となりました。本学で2年間学んだ93名の学生も卒業を迎えようとしている2月。

2年間の実習、日々の受講、学内行事そして先日の定期試験を終えてホッとした表情と共に、新しい生活を踏み出す4月に期待と不安の学生達とその思いも様々のようです。創立から83年、こうして本学を卒業した保育者が県内外の保育施設で子どもたちと出会い、向き合い成長を援助し、時には実習生や新任者を指導援助してくださる立場となっていく。綿々とつながってきた保育の積み重ねに思いを馳せると同時に、変わりゆく社会の変化に新しい保育を創造すべき時代を迎えた事をしみじみと感じています。

2023年から国の子ども・子育て・保育に関する制度や政策が大きく動きました。こども家庭庁の誕生と「子ども基本法」の制定。続いて「こども大綱」「幼児期までのこどもの育ちに係る基本的なビジョン」が2024年4月からスタート。そして園がこどもまんなか社会および100か月ビジョンを推進する重要な地域の拠点として期待されている今、各園が意識して保育のあり方や保育者はどうあるべきか、保育者の専門性につながる営みとして自分たちの保育の方向性を改めて園内で確認し合っているのではないのでしょうか。

思えば、地域園に勤務した私がたびたび聞いた「いいこと♪いいこと♪考えた～」という子どもの声。子ども同士で話し、悩んだ末に思わず、ひらめいた時の言葉に“子どもってすごいなあ”と尊敬して観ていると「先生、ほら見て」と伝えてくれた瞬間が素敵でした。

子ども主体の保育を考えた時、遊びが大事でその環境構成や援助を中心に考えますが、それだけではない内面からわき上がる感覚。子ども個人が、又はものと子ども・子ども同士・保育者と子どもと相互に時間を共有する中で体感するひらめきや気づき、そんな瞬間の積み重ねが子どもを豊かにしてくれるような気がします。

養成校教員として最近読んだ佐伯胖編著『子どもの遊びを考える「いいこと思いついた!」から見えてくること』の本から岩田恵子執筆者の文が印象に残ったのでここで紹介いたします。

「学生が実習で出会えた「いいこと思いついた」は、自分とは異なる想定外の子どもの感じている世界に気づき始めると、「どうなんだろう」と子どもの目線、感じる世界を共に見ようとしながらかわることが生じてきています。」

実習に臨む学生も、子ども主体の保育を考えている保育者も常に遊びや生活を丁寧に捉えて、子どもと「共にいる」ことを大切にする。そこで心が動き、悩み葛藤し驚き気づき合う関係性が生まれるのだと思います。

「いいこと♪いいこと♪考えた!」が飛び交う園、子どもに限らず周囲の大人も“こどもをまんなかに!”共に楽しめる日々を歩んでほしいと強く願っています。

ホスピタルプレイスペシャリスト (HPS)

秋田県立医療療育センター 小児科
センター長 矢野 珠巨

「タイトル、内容はお任せ致します。」とのことでしたので、拡大解釈をして HPS のことを書きます（保育にも繋がる場所があると思うので）。

当センターには、秋田県で唯一 HPS の資格を持つ保育士がいます。HPS は遊びを通じて、子どもがこれから行われる医療行為や手順を理解し、医療環境を子どもにとって親しみのある場所にし、子どもの不安を軽減し、子どもが医療を肯定的に捉えられるようにするための専門職です。主な仕事は、プレパレーション（※1）、ディストラクション（※2）、家族のサポート、安心できる環境作りなどで使用のおもちゃや道具はお子さんに合わせて手作りしています。

当センターでは点滴・採血などの他、整形外科をはじめ、歯科、小児外科、耳鼻科、眼科、泌尿器科などで外科的な処置を行っています。特に発達障害のお子さんは医療行為に敏感ですので、安心して検査や処置に臨むために HPS は欠かせない存在です。

よく考えてみれば、大人だって何をされるのかわからない状況は恐怖です。もし自分が宇宙人にさらわれ、UFO に連れ込まれ、台に拘束されて身動きできず、見たこともない機械を目の前に出されたら…。想像するだけで身がすくんでしまいます。子どもにとって、医療行為とはそういうものかもしれない。「子どもは理解力が低いから」、「余計な不安を与えるから」と大人のものさしで考え、「子どもだから説明しなくていい」なんてことはないわけで。子どもだって、ちゃんと説明して安心できる環境を整えれば、嫌なことでも乗り越えられる力があるんですね。子どもは、私たちが思っているよりもできることが多いのです。その能力を発揮できる状況を整えてあげるのが、大人の役目だと思います（←やっとなんか保育に繋がりました！）。

（※1）プレパレーション：子どもが検査や処置をする前に、事前に心の準備ができるように、なぜこの検査をするのか、なぜこの治療が必要なのか、どういう風に行なうのかをあらかじめ子どもにわかりやすく説明し、子どもが納得して医療行為を受けられるようにすることをいいます。子どもと遊びながらかわいい絵やイラストを使って説明したり、実際に使用する医療器具を触らせたり…。子どもには嘘をつかずに事実を正直に伝え、心の準備ができるようにします。不安が和らぐと納得して検査や処置が受けられるようになります。

（※2）ディストラクション：処置中に子どもの気を紛らわせることを目的とした遊びで、処置の苦痛を紛らわせることができます。処置で泣いたり暴れたりしている子どもは、大人に無理やり押さえつけられ、強い不安や恐怖で精神的に大きなストレスがかかっています。子どもを押さえつけなくても、子ども自身が納得して処置を受けられるようになれば、その後も病院や医療者が子どもにとって恐怖の対象ではなくなることが期待できます。

「青年部研修会」を終えて



こひつじ保育園
保育士 榎田 芽依

私が研修を通して印象に残ったことは2つあります。まず1つ目は、「質の高い保育は対話をするのが大切」ということです。子どもとの対話はもちろん、職員との対話、保護者との対話も大切だと学ぶことができました。その話を聞き、私は保育の中で対話ができているのかを見つめ直す機会にもなりました。忙しいから、他の事をしているからなど言い訳をして子どもとの対話を疎かにしないように気をつけていきたいと思います。2つ目は、「子どもとの関わり方」についてです。研修の後半では、菊地政隆先生の曲に合わせて手遊びをする時間がありました。初めて会った人と会話をすることはもちろん、ペアで手遊びをすることにも緊張を感じました。しかし菊地政隆先生の明るくて楽しい雰囲気の中で手遊びや体を動かすことによって、緊張が解けていつの間にか自然と手を繋いでいる自分がいました。みんなが笑顔になるためには、手遊びをする先生自身が楽しみながらどう関わっていくかが大切だと気づきました。子どもたちが笑顔になれるようユーモアを交えながら楽しい保育を演出できるようにしたいと思います。

貴重な体験をさせていただき、青年部の先生方の企画に感謝いたします。



「青年部研修会」研修を終えて

明照保育園
保育士 山口 晶子

菊地政隆(まあせんせい)先生の研修会に参加し、まあ先生の温かくユーモア溢れる人柄と熱のこもった講和はとても分かりやすく、保育士時代や現在の理事長としての園での関わりから、具体的な事例を交えお話して下さったため、とても理解が深まり楽しく学ぶことができました。自身が運営している各園を定期的に周りコンサートしているとの話や、お忙しいながらも各園での保育の様子にもしっかりと着目しながら過ごし、そこで働く職員の話も聞き実例としてたくさんあげられていました。その中で子ども達の主体性を大切にしていることを特に感じることができました。質の高い保育とは、“対話すること”子どもとの対話はもちろん、職員同士の対話も大切にしていきたいと感じました。そして保育とは“オーダーメイド”で、一人一人と向き合って保育を変えていき、主体性を持った保育者になるためには、目の前の子どもに合った保育をしていくということを改めて学びました。

実技研修では、まあ先生が作った手遊びやふれあい遊び、体操などをたくさん紹介してもらい、実際にやってみるとどれも楽しく、子どもたちも簡単に覚えられそうなものばかりだったので保育にも取り入れていきたいと感じました。今後もより良い保育を目指していきたいと思います。

令和6年度第3回常任委員会報告

令和7年2月17日(月) 13:00~16:00 場所：県社会福祉会館8階 事務局

【参加者】 会長・副会長・各部長・中央関連委員・事務局

【協議事項】

① 令和7年度総会について

開催日時 令和7年4月24日(木) 14:00~

会場 秋田市にぎわい交流館AU 3階 多目的ホール

議長 能代山本地区より

議事 令和6年度事業報告

令和6年度決算報告 監査報告

会則・規程の一部改正について

令和7年度事業計画(案)

令和7年度収支予算書(案)

② 各事業部報告について

・総務部

令和6年度は「北海道・東北ブロック保育研究大会」に向けての活動が入り、例年より総務部会の回数が多くなりました。部としての反省点もありましたが、成功裏に終えることができました。これもひとえに会員の皆さま、役員の皆さまあつてのこと誠に感謝申し上げます。

さて、地域交流助成事業については、活用が増えたことにより不備な点や改めて見直しが必要な点がありましたので、要綱の変更に伴い申請書・報告書の変更もしました。この度の総会で皆さまにお諮りいたします。

今年度決算につきましては、おおむね計画通りに終えることができましたが、来年度予算につきましては会員施設の廃止や園児減少により定員数の変更あり、また、諸物価の高騰により全国保育協議会会費の値上がり等々あります。

総務部としては、災害互助制度並びに地域交流助成事業の各種申請の認知度が上がりますようこれまで同様に推し進めていく所存です。是非皆さまからのご意見・ご要望等お寄せいただけますようお願い申し上げます。

・広報部

今年度も8月、12月の2回『保育あきた』瓦版を、3月に『保育あきた』を発行する予定です。物価高騰やデジタル化の影響により広報誌の紙面版をやめ、保育協議会のホームページにアップする形となりましたが、会員園の皆さまにも大分浸透してきたことと思います。

広報としては、保育研究大会の発表園、様々な研修会に出席された先生方の声をいただくことができ、参加されなかった先生方にも研修会の情報を届けられたのではないかと考えております。今後は他部との連携も図りながら、皆さまに有意義な情報を発信していけるように部員一同協議していきたいと思います。

会員園の皆さまにおかれましては日頃より広報活動に対して、ご理解ご協力いただいていることに心より感謝申し上げます。

・研修部

子どもの心身の健やかな発達を守り、保護者の多様なニーズに応えていくことができるよう、保育現場で活かせる研修や保育士等の資質向上につながる研修の実施に努めました。すべての研修においてキャリアアップの認定を受け、二次募集をしたことで多くの方に参加していただくことができました。熊出没の警報期間延長に伴い、急きょ内容を変更した研修もありましたが、講師の方に事情を理解していただき、当初の目的に沿った内容で実施することができました。今後ともご理解ご協力いただけますようよろしくお願いいたします。

・研究大会部

令和6年5月30日・31日（木・金）今年度は北海道・東北ブロック保育研究大会が秋田県での開催という事で、秋田県保育研究大会は実施せず選考会という形が執られ16施設32名の皆さまからの発表がありました。

令和6年7月10日・11日（水・木）には北海道・東北ブロック保育研究大会が秋田市のキャッスルホテルで開催されました。

私たちにたくさんの学びの機会を与えてくださった発表園の皆さま、ご助言くださった助言者の皆さま、選考発表会に関わってくださったすべての皆さまに感謝申し上げます。ありがとうございました。

今後も皆さまのお力を借りながら、部全体で協力し明るい気持ちで取り組んでいきたいと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。

・運営研究部

10月22日（火）開催の園長セミナーにつきましては、保育総合研究会との合同開催となり会員園の皆さまからも多数のご参加いただきました。全国各地の少子化に伴う施設運営の現状を知ることができました。

他部と連携しての研修会の開催につきましては今期開催できませんでしたが青

年部と合同部会を重ね、会員園の皆さまがより良い学びの研修会ができるように進めてまいります。

県内市町村への単独補助金の調査につきましては回答をいただき、集計をして市町村、会員園の皆さまに公表いたしました。

会員園の皆さまには運営研究部の活動に対してご理解ご協力をいただき心より感謝申し上げます。

・青年部

11月25日（月） 菊地正隆氏（まあ先生）をお招きして、『明日からの保育を楽しもう!!主体性を育む講話と実技』と題し、主として現場の先生方向けの保育力向上に資する研修会を企画・実施いたしました。園行事と重なる時期での開催となり、参加者数は想定を下回ってしまいましたが、参加者からは非常に有意義で糧となる研修会であったとの感想が多くありました。研修内容に関するニーズ調査につきましても、多くの施設から研修に関する要望・意見を集めることができ、部内ではもちろんのこと、各部にも結果を公表・共有し会員施設にとって参加したくなる研修会の企画・運営に役立ててまいります。

他部との連携について、運営研究部との合同部会を複数回開催いたしました。単独では難しくても、他部と連携することで新たな可能性を見出すことができたように感じます。協議をさらに重ね目に見える形で会員各位へ還元していけるよう継続して活動を進めてまいります。

・共創プロジェクト

令和5年度までの内部活動を軸に子ども達の安心安全な環境維持、保育の質の向上のため施設だけでは困難なことを外部（企業団体等）と連携共創し実現を目指すことを目的に当プロジェクトは発足しました。

令和6年度は「秋田県内郵便局・秋田県保育協議会・秋田県警こどもの見守り三者連携協議会」、「保育者養成校連携事業」を柱に事業を展開してきましたが、発足することにとどまってしまった事業もあり反省が残ります。改善を図りながらチーム一丸となり、会員園の皆さまに活動の成果がご理解いただけるよう努めてまいります。

③ その他

研修事業として公定価格勉強会を計上しているが、会員園向けの研修は行わないので次年度の予算には計上しない。また、公定価格委員会でを行う勉強会を運営研究部から支出しているため次年度に必要分計上する。

共創プロジェクトの経費を予備費から支出しているが、次年度から総務部に共創プロジェクトを担うことで予算も必要経費分計上することとする。

県保協 HP から各申請書がダウンロードできます

災害互助制度について

会員園がお互いに助け合いの精神によって災害互助制度を設け、保育活動の充実に寄与することを目的としています。園内外の保育活動中はもちろんのこと、園児の登降園中や職員の通勤途中の事故に対し、被災者にお見舞金を給付する制度です。

死亡見舞金請求は死亡後1ヶ月以内、傷害治療見舞金請求は治療完了後1ヶ月以内、自然災害見舞金請求は災害発生後1ヶ月以内か災害復旧後1ヶ月以内となっております。

(基本1ヶ月以内)

これからも皆さまにとって活用しやすい制度を目指してまいりますので、お気づきの点がありまたら事務局までお寄せください。

地域交流事業について

会員園同士が個々の活動を超え、2か所以上の施設が連携して行う保育活動、近隣に交流する保育施設が無い場合であって、会員施設が単独で地域との交流を図るための事業に対し助成するものです。R7年度総会資料申請書に以下の項目を設けましたのでご確認願います。①地域内での教育・保育士施設の存在や活動をアピール ②地域との交流（他施設や世代間交流を含む）③幼保小の接続の観点から、同じ小学校に就学する園児の交流を対象とします。申請は事業開始1ヶ月前まで、報告は助成事業完了後1ヶ月以内に本会長あてに提出してください。事業完了後1ヶ月以内に年度末となる場合は、3月20日までの提出となります。

総務部

【実施した部会】

○第5回 日時：2月7日 13:30~15:30

場所：WEB開催

内容：決算報告（見込み）と予算（案）について

災害互助規定の変更について

地域交流助成事業の変更について

今年度事業の振り返りについて

来年度の事業について

事業報告・事業計画について

○第6回 日時：3月27日 15:00~17:00

場所：保育協議会会議室

内容：総会の役割分担について

決算報告と予算（案）の確認について

会則の変更事項の確認について

【部からのメッセージ】

令和6年度の前半は「北海道・東北ブロック保育研究大会」に向けての活動が入り、例年より総務部会の回数が多くなりました。部会は全てオンライン会議で参集はありませんでしたが、最後の総会に向けては参集型の予定です。

災害互助制度、地域交流助成事業の規定の見直しなど、何度も変更、更新作業を行ってまいりましたが、これも会員の皆さまがいかにか使い勝手が良くなるかを意識し内容の検討を進めてまいりました。令和7年度の総会時にお示しいたしますので、是非ご確認をお願いいたします。今後もしもご不便な点や不都合な点等がありましたら是非お知らせください。

前回の常任委員会で話し合われたことで、今回特に地域交流助成事業要綱から、申請書・報告書に変更がありました。これまで事業の助成金額は一律でしたが、次年度から2段階方式になります。また、申請書に事業目的を載せた点、報告書に送金希望金融機関を設けた点などが大きな違いになるのでしょうか。多くの方に総会に足を運んでいただき皆さまにご周知いただきたく思っております。

(総務部長 畠山 柳子)

研 修 部

【実施した部会】

- 第5回 日時：2月14日（金） 14：00～15：00
場所：保育協議会 会議室・WEB
内容：令和6年度の振り返りと次年度に向けて

【部からのメッセージ】

採用から5年目までの保育士・保育教諭を対象に、3回連続で実施していた保育士研修は、今年度から対象者を保育士等とし、保育に携わる人に広げて実施しました。保育現場で働く者として大切な基本から、さまざまな場面に対応していく専門性を多くの方が学ぶ機会とし、園としてのスキルアップにつながることを目指しています。研修内容や講師を見直し、日程等を工夫してより多くの方に参加していただけるようにしたいと思います。

今後とも研修部の活動へのご理解とご協力をよろしくをお願いいたします。

(研修部長 飯田 裕美子)

研究大会部

【実施した部会】

- 第1回 日時：10月30日（水） 13：30～15：30
場所：保育協議会 会議室 【WEB】
内容：令和7年度 第53回秋田県保育研究大会について
・研究大会部員の任期について
- 第2回 日時：1月17日（金） 10：00～16：00
場所：保育協議会 会議室
内容：令和7年度 第53回秋田県保育研究大会について
① 資料の校正
② 発表園への連絡
・印刷業者との打ち合わせ

【部からのメッセージ】

日頃より秋田県保育協議会研究大会部の活動に対し、ご理解とご協力をいただき感謝申し上げます。「研究大会部」としての活動が2年経ちました。今後も皆さまのお力をお借りしながら、部全体で協力し合い研究大会を盛り上げていけるよう頑張っております。

(研究大会部長 田口 志織)

運営研究部

【実施した部会】

- 第3回 日時：10月9日（水） 13：30～
場所：WEB 開催
内容：園長セミナー役割分担について
公定価格勉強会の開催について
地域における補助金等の調査について
- 第4回 日時：11月1日（金） 13：30～ 青年部と合同開催
場所：WEB 開催
内容：公定価格検討委員会について
合同部会・共同事業の意義について

- 第5回 日時：1月29日（水） 13：30～ 青年部と合同開催
場所：WEB 開催
内容：次年度の事業について
- 第6回 日時：3月18日（火） 13：30～
場所：保育協議会 会議室
内容：次年度の事業について
合同研修会について（日保協 北海道・東北ブロックとの合同）

【部からのメッセージ】

日頃より運営研究部の活動にご理解とご協力をいただき心より感謝申し上げます。
10月22日（火）に開催しました園長セミナーには多数のご参加ありがとうございました。
今後も他部、他組織との連携も視野に入れながら、その時に求められる内容の事業に取り組んで
行きたいと考えております。

（運営研究部部长 吉川誠治）

広 報 部

【実施した部会】

- 第5回 日時：11月26日（火） 13：30～16：30
場所：保育協議会 会議室
内容：『保育あきた』瓦版 原稿校正作業
プロジェクター、スクリーンを使用し誤字脱字等の修正
・『保育あきた』3月発行の内容について
原稿依頼の選定
- 第6回 日時：3月3日（月） 13：30～15：00
場所：WEB 開催
内容：『保育あきた』瓦版 原稿校正作業
役割分担（担当決め）
- 第7回 日時：3月7日（金） 13：30～17：00
場所：保育協議会 会議室
内容：『保育あきた』 原稿校正作業
プロジェクター、スクリーンを使用し誤字脱字等の修正
・次年度の事業計画について
・任期による役員改選について

【部からのメッセージ】

今年度の『保育あきた』を発行いたします。是非とも職員の皆様にもご覧になっていただければ幸いです。

今後も会員園の皆様にとって有意義な情報発信となるよう部員一同頑張っております。
広報部の活動へのご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

(広報部長 川嶋 博英)

青年部

【今年度計画】

- ① 青年部研修会の企画および運営
- ② 他部との連携の推進
- ③ 青年部および県組織の魅力および情報の発信
- ④ 人材発掘および部員確保のための継続的な取り組み
- ⑤ 全国組織（全保協、日保協、全私保連）の活動への参加

【実施した部会】

- 第5回 日時：12月26日（木）14：00～
場所：WEB開催
内容：常任委員会の報告について、令和7年度の事業について
研修内容に関するニーズ調査について等
- 第6回 日時：1月29日（水）13：30～
場所：WEB開催
内容：合同研修会の企画案について、今後の活動予定について等
（運営研究部との合同部会②として開催）
- 第7回 日時：3月13日（木）13：30～
場所：保育協議会会議室・WEB併用
内容：今年度の振り返り、次年度に向けて等
研修内容に関するニーズ調査について等

【実施した事業】

- 研修内容に関するニーズ調査
対象：全会員施設
期間：1月14日（火）～24日（金）

内容：施設長・5年以下経験の保育士・5年以上経験の保育士を対象に、県保協が企画・主催する研修会に対する要望・ニーズ等を調査する

回答：151 施設

【部からのメッセージ】

今年度、運営研究部との合同部会（計2回）を通じて、合同で行うことの意義や目的を協議・検討ならびに共有をいたしました。一定の方向性を見出すことができているので、今後も実りある活動になるよう、引き続き連携を図っていききたいと思います。

また、研修内容に関するニーズ調査を1月に実施いたしました。会員施設の皆さまから多くのご意見・ご要望が集まりました。お忙しいところご協力いただきましたことに深く感謝申し上げます。

今後部内で回答を集約し、その結果を他部とも共有を図ることで、今後の各種研修の企画への参考にさせていただきたいと考えております。

（青年部長 伊藤 昌人）



鹿角地区保育協議会

会長 畠山 睦子
(錦木保育園 園長)

当地区は認可保育園7施設、認定こども園2施設、児童・未来センター合わせて10施設で構成されています。令和6年度の事業について報告します。

1. 会議の開催

理事会	年3回(6月、9月、2月)
理事・評議員会	年1回(2月)
事務局会議	年3回(5月、8月、1月)

2. 会報「しかしか」発行

会員共通テーマ

『あなたのおすすめスポットは?』 ～鹿角地区内から海外まで♪～

NO.84(9月)冒頭の挨拶

小坂町教育委員会事務局長 成田 昌章 氏

NO.85(2月)冒頭の挨拶

鹿角市健康福祉部すこやか子育て課課長 工藤 千秋 氏

3. 研修会

○保育協議会・保育士部会共催研修会

開催方法 WEB開催(10/21～10/26)

演題 映画『こどもかいぎ』オンライン自主上映会

※期間内に各施設で自主上映会を開催



○保育士部会研修会

開催方法 オンデマンド開催(8/1～8/31)

演題 『子どもをまんやかにした保育を実現するために』

講師 保育環境アドバイザー 井上 さく子 氏

○鹿角学校保健会 合同研修会 11月26日(火)

演題 『児童生徒のメンタルヘルス、心身の不調と環境の影響について』

講師 大館市教育委員会 臨床心理士 佐々木 百合 氏

4. 研究会

○給食研究会 年6回(5月、6月、8月、10月、12月、1月)

テーマ 『就学までに身につけたい食環境について』

・給食研究会研修会 12月9日(月)

研修Ⅰ 『調理場並びに保育室(教室)の衛生管理について』

研修Ⅱ 『献立作成と食育について』、『食物アレルギーについて』

・第67回学校給食協議大会鹿角大会に参加 7月26日(金)

○かづのスマイル研究会 年8回(5月、6月、7月、8月、9月、10月、11月、1月)

テーマ 『みんなでスマイル ～あそんでたべてげんきにすごそう～』

北秋田地区保育協議会

会長 鈴木 千佳子

(北秋田市立前田保育園 園長)

当地区は大館市の公立5施設・民間5施設・へき地5施設、北秋田市の認定こども園2施設公立3施設・民間5施設、そして上小阿仁村の認定こども園1施設を合わせて26施設で構成されています。今年度5月からはマスクの着用も個人の判断となったことで以前と同様の活動を行うことができました。今後も各地区連携を取り合い、役員や会員施設長の協力を得て、活動を続けていきたいと思っております。令和6年度の事業について報告をいたします。

1. 会議の開催

総会 年1回 役員会 年4回

2. 事業報告

○視察研修会 7月24日(水) 参加者23名

《訪問先》

北秋田市障がい児・者地域生活支援拠点「あいライン」

「あきたセントラルキッチン」

「あいライン」



「あきたセントラルキッチン」



(モニターでの視察)

○子育てを語る集い 8月19日(月) 参加者93名

《講演》 「子どものSOSの捉え方、ほめ方叱り方の対応について」

講師 (株)越谷心理支援センター 顧問

常磐大学人間科学部 心理学科 教授 秋山 邦久 氏



○施設長等研修会 10月23日(水) 参加者42名

《講演》 「メディアとのよい付き合い方」

～保護者と連携してできること～

講師 比内支援学校専門監 藤田 久美子 氏



《体験交流・ボッチャ》

講師 大館市スポーツ課職員 (2名)



○機関誌 「北の保育」NO.43号 編集・発行

《内容》

- ・巻頭言 各事業の実施概要と感想
- ・大館・北秋田地区保育協議会活動報告
- ・「北海道・東北ブロック保育研究大会」への選考発表会に参加して
- ・新園長インタビュー他

能代山本地区区保育協議会（能代・山本）

会長 大塚 恵

（能代感恩講保育所 所長）

当地区は能代市（8施設）と山本郡3町（6施設）の14施設で構成されております。
今年度も役員会で情報交換を行い、連携を取りながら活動を進めました。
令和6年度の事業について報告いたします。

1. 総会（4月）

- ・「指導監査や保育の質の向上について」 秋田県教育庁北教育事務所 総務・幼保推進チーム
副主幹 児玉 大人 氏
指導主事 庄司 伸子 氏
主任社会教育主事 櫻庭 直 氏
北地区の令和5年度の指導監査における指導や助言事項についてのお話がありました。
6年度の運営をスムーズに進めていけるようにと昨年度との変更点や新年度に提出が必要な届出事項の確認及び保育の質の向上のために必要なこと、情報等を知ることができました。
- ・事業報告と事業計画について
- ・情報交換 「こどもかいぎ」について 轟保育園 園長 九嶋 洋子

2. 役員会 年3回（6月、8月、2月）

3. 研修会（6月）

- ・「架け橋プログラムについて」
講師：大館市教育委員会 学校教育課・教育研究所 副主幹 山本 多鶴子 氏

秋田県で架け橋プログラムの先進地区であります山本多鶴子先生の貴重なお話を伺う機会となり、施設長だけではなく主任等の参加も呼び掛け開催いたしました。

架け橋期のカリキュラムの必要性・進め方・作成時の手順とポイント等を学び、2回目の研修

として視察を予定しました。日程が合わず残念ながら見送ることとなりましたが、山本先生よりお声掛けいただき、「第9回 全国小学校キャリア教育研究協議会 大館大会」にも参加させていただきました。公開授業で幼保小の交流の様子等、実際の取り組みを見学し、今後の自園の取り組みに活かしていきたいと思えます。



男鹿南秋潟上保育協議会（男鹿・南秋・潟上）

男鹿市保育協議会（7施設） 会長 仲塚 鈴香（脇本保育園 園長）
南秋・潟上保育協議会（10施設） 会長 浅野 史子（天王こども園 園長）

協議会の運営はそれぞれで行う中、研修会への参加を呼びかけ合い交流を図っています。男鹿市保育協議会では血液型と人間関係の密接な関係性を興味深く学びました。南秋潟上保育協議会で園公開と研修を行っていた保育講座は役目を終えて今年度で終了となります。

【男鹿市保育協議会】

① 保育協議会学習会

第1回学習会『血液型漫談「血液型と人間関係」』

講師：漫談師 辻田 与五郎 氏

② 保育士部会 未満児・以上児合同学習会

第1回学習会『お腹の中から始まる子育て～発達の土台を育てる～』

講師：あい助産院 施設長 菊地 世智子 氏

第2回学習会『幼児期の運動遊び・リズム遊び』 講師：カワイ体育教室 渡部 勇孝 氏



③ 園長会議 13回

④ 園長補佐会議 5回

⑤ 調理員委員会 2回

⑥ 作業手委員会 1回



【南秋・潟上保育協議会】

① 運営研修会（今年度より主任保育士等研修会と隔年開催）

「大人のクッキング教室～味噌玉作り」

講師：潟上市三浦醤油店 三浦 将人 氏

② 保育士部会

第1回保育実践研修会 研究テーマ「互いに認め合う心を育む」

～友達と関わる中で相手の気持ちに気づき、

互いに成長し合う子どもを目指して～

発表者：井川こどもセンター 浅野 千春 先生・小熊 貴加子 先生

第2回保育実践研修会 講義「子どもの運動神経の育て方」実技「体軸体操と運動遊び」

講師：ブラウブリッツ秋田 運動神経向上スクール代表 佐藤 吏 氏

NKH はな咲く会 0歳児～5歳児（計5回開催）

③ 保育講座 施設公開『天王こども園』

講話「食べる力を育もう！

0歳児からの口育と食事支援」

講師：グリーンローズてがた保育園

栄養士 小田原 栄子 氏



秋田市地区保育協議会

会長 上村 清正

（あおぞらなないろ園 園長）

様々な交流ややり取りが対面で行われるようになり、幼児教育・保育についても保護者や関係者、多くの方々との関わりももてるようになりました。様々な取り組みにおける課題や対応について役員で協議、決定しながら進めてまいりましたが、まだまだ子ども達を取り巻く環境の整備や関係者の就労状況の改善、施設運営に関する支援等については、今後も継続して取り組んで行かなければならないと考えております。

取り組むべき対応の多さを実感しつつ、何が正解かも模索しながら進んでいく場面も多くあります。今後も役員や会員施設長の協力を得ながら様々な協議・検討をしながら、当協議会に関わる全ての皆様の「笑顔」を増やしていけるよう尽力してまいりたいと思います。

令和6年度の当会の活動は次の通りです。

1. 諸会議

(1) 総会

4月16日(火)各議案を承認いただき、計画した事業を進めていくこととなりました。

(2) 正副会長会・施設長会

月1回のペースで集合形式にて開催していきましました。参加者間で活発な意見交換を行いつつ進めております。

来年度、秋田市市長選挙を控えその対応について協議・決定し「推薦状の交付」及び「質問状」を作成し回答をいただき、当協議会の有益に繋がるための対応を進めてまいりました。

2. 部会活動

主任部会、給食部会、保健部会、男性保育士部会の4部門が計画に沿って実施してまいりました。

男性保育士部会は「子育て応援団 すこやかあきた2024」へ参加しており、「男性保育士」のイメージ向上にも貢献できたように思います。

主任部会・給食部会においては、秋田市地区保育士会と事業の整合性を確認しながら実施していきましました。

3. 委員会活動

(1) 研修委員会

2回の研修会を施設長対象に開催しました。

12月10日(火)

「地域の災害を知り防災意識を高める園児を対象とした避難行動支援」

1月17日(金)

「あなたの素敵な笑顔と声を大切な方に届けよう」

～人生が輝く☆第一印象アップ術～

(2) 広報委員会

ホームページに毎月リレーコラムを更新しております。「協議会だより」を2回発行しました。

(3) 保育運営委員会

6月7日(金) 自民党との懇談会

6月14日(金) 秋水会との懇談会

秋田市の保育行政に関する要望書をもとに・障がい児保育・保育体制強化事業・奨学金返還助成事業など様々な「子育て」支援や体制について話し合いました。この話し合いをもとに新たに要望書をまとめることとしました。

また、年度後半には会員施設の就業規定についてのアンケートを実施しました。

(4) 子育て支援企画委員会

「子育て応援団すこやかあきた 2024」に昨年に続き今年度も実行委員として参加しました。当日はスタッフとして参加し男性保育士部会による寸劇とともに会場を盛り上げました。

11月2日(土)

「親子であそぼう」を開催しました。

悪天候で参加者の伸びはなかったものの来場者の方には楽しんでもらえました。OBによる手品も盛況でした。

4. 地区ブロック別交流会行事

今年度は東部地区、中央地区③の2地区が交流会を実施しております。当協議会の地域交流助成については、より活用しやすい形となるよう協議してまいります。

5. 保育懇談会

秋田市子ども未来部(子ども育成課、施設指導室、子ども健康課)と秋田市保育協議会会員施設長との懇談会は例年行なってきましたが、今年度は正副会長が代表となり開催されその後、全会員施設の声を要望書としてまとめ8月19日に届け10月15日に回答をいただきました。回答をもとにさらなる話し合いを深めております。

6. 秋田市議会議員会派「秋水会」「自民党」との意見交換会

3-(3)に記載

7. 今後の課題等

秋田市において「行政・政治・保育現場の三者が協同しより良い子育て支援・体制を構築していく」ことができますよう、皆で取り組んでまいりたいと考えております。

由利地区保育協議会（由利本荘・にかほ）

由利本荘市保育協議会

会長 猪股 和子（石沢保育園 園長）

にかほ市保育協議会

会長 吉川 誠治（ひまわり保育園 園長）

当地区は由利本荘市（20施設）とにかほ市（7施設）の27施設で活動しております。協議会の運営はそれぞれで行っていますが、研修事業については両協議会と地区保育士会の三団体が合同で実施しています。昨年度まではオンライン研修も数多く企画しましたが、今年度はすべて集合型の研修会として実施しました。今後も情報交換を大切にしながら地区全体の活性化と資質向上を目指してまいります。

1 会議開催

総会 1回（4月） 合同役員会 2回（5月、2月）

2 研修事業

①園長・主任合同研修会（6月）

「インターネット健全利用」

講師 秋田県教育庁生涯学習課 佐々木 豊氏 菊地 智氏

②主任保育士研修並びに会議（6月）

「ストレスを抱えこまない心と身体のケアについて」

講師 フリーインストラクター 齋藤 真弓氏

③園長等研修会（8月）

「保育情勢について」

講師 全国私立保育連盟 常務理事 齊藤 勝氏

④給食研修会（9月）

「食物アレルギーの基礎知識と給食対応」

講師 ちば小児科アレルギークリニック院長 千葉 剛史氏

⑤保育士研修会（10月）

「子どもにとって創造性を豊かにする表現あそびとは」

講師 聖園学園短期大学 教授 内藤 裕子氏

⑥保育研修会（11月）

「スマホ等が子どもに与える影響と保育者の役割」

講師 東北大学応用認知神経科学センター 助教 榊 浩平氏

⑦園長等研修会（11月）

「保育行政の動向について」

講師 日本保育協会 全国理事
社会福祉法人清隆厚生会 理事長 坂崎 隆浩氏

⑧由利本荘市保育研修会（11月）【キャリアアップ研修：障害児保育 3時間】

「発達支援の基本について」

講師 日本保育協会 全国理事
社会福祉法人清隆厚生会 理事長 坂崎 隆浩氏

⑨保育士等研修会（12月）【キャリアアップ研修：障害児保育 3.5時間】

「（発達）障害の理解と支援 インクルーシブ保育・教育を考える」

講師 秋田県発達障害者支援センター
ふきのとう秋田センター長 荒川 祐介氏

⑩主任保育士会議（1月）

「保育情勢の変化と主任保育士の役割について」

講師 由利本荘市保育協議会 会長 猪股 和子氏

3 調査・広報活動

「由利本荘市・にかほ市 保育施設従事者名簿」作成

4 その他

- ・子ども交流事業「第36回こどもフェスティバル（本荘地区）」開催（7月）
- ・由利本荘市 こども未来課との勉強会（6月）
- 市議会議員と保育協議会会員との懇談会（8月）



研修「保育情勢について」（8月）



研修「発達支援の基本について」（11月）

仙北地区保育協議会（大仙・仙北・美郷）

大曲地区保育協議会

会長 山信田 勢津子（大曲北保育園 園長）

大・仙・美保育協議会

会長 吉川 壮（日の出ベビー保育園 園長）

仙北地区は大曲地区と大仙・仙北・美郷地区の2つの協議会で構成されており、相互に連携を図りながら活動を進めております。今年度の実施事業について次の通りご報告いたします。

【大曲地区保育協議会】

① 総会

② 研修部会

- ・部会開催（5月・2月）
- ・実技研修会「未満児でも楽しめるダンス」（9月）

③ 給食部会

- ・部会開催（5月・8月・1月）
- ・給食担当者研修会「食中毒の予防とその対策について」（5月）

- ④ 広報部会
 - ・部会開催（5月・11月・1月）
 - ・広報誌「ふれあい64号」編集・発行（12月）
- ⑤ 厚生部会
 - ・部会開催（5月・1月）
 - ・リフレッシュ事業「音楽鑑賞会 ピアノ弾き語り」（7月）
- ⑥ 保健安全連絡会
 - ・部会開催（5月・1月）
 - ・「保健のしおり」「ヒヤリハット・事故発生報告書」等の見直し（10月）
- ⑦ 講演会
 - ・よき理解者になるために
～子どもが見せる「なぜ」を知って明日から実践へ～（7月）
- ⑧ 研修会
 - ・指導計画の必要性や立案の仕方の基本理解と課題について考えよう（8月）

【大・仙・美保育協議会】

- ① 保育実践研究集会 実践研究発表（2月）

<発表園>

幼保連携型認定こども園 角館こども園

<発表テーマ>

「なんだろう？やってみたい！と遊びを楽しむ子どもを目指して」

～ワクワクが生まれる環境を支える保育を探る～

<指導助言・講話>

南教育事務所主任指導主事 佐藤 伸剛 氏

- ② 施設長部会

- ・施設長研修会（10月）秋田県立大曲支援学校 視察

- ③ 保育士部会

- ・副園長・主任研修会及び保育士研修会Ⅰ（6月）

「子どもにしてみませんか？『ほ・ま・れ・か・が・や・き・を』で伝わりやすいコミュニケーション」 講師 秋田県北児童相談所 猪又 美奈子 氏

- ・保育士研修会Ⅱ（7月）

「運動会研修会」 講師（株）メイト おおやま やすし 氏

- ・給食担当者研修会（8月）

「食品ロス削減について」

講師 秋田県温暖化対策課 田口 勇輔 氏



横手地区保育協議会

横手市保育協議会

会長 遠山 一栄

(みいりの保育園 園長)

横手地区は、私立認可保育所 2 施設、私立認定こども園 4 施設、公立認可保育所 3 施設、私立地域型事業所 2 施設で構成され活動しております。本年度は例年の活動の外に、①「こどもまんなか応援サポーター宣言」に向けた横手市との第 1 回協議会、②秋田県保育協議会の活動の一環として横手市長への要望書の提出を鶴田有司県議会議員と行いました。いずれも横手市として検討するとの回答を得ました。

令和 6 年度の当会の活動は次の通りです。

(1) 総務委員会 5 回

(2) 総 会 (4 月)

(3) 研修委員会

会 議 3 回

研修会

① 園長セミナー及び職員研修会 9 月 5 日 (木)

講演「楽しい防災教育のススメ」

② 横手市地区保育セミナー 12 月 26 日 (木)

保育研究大会の再発表

③ 横手若手園長会オープン研修会 1 月 20 日 (月)

講演「SNS 活用セミナー」

④ すくすくネットワーク 5 回 (7 月、8 月、9 月、10 月、11 月)

8 月は横手市保育士会との合同職員研修会 8 月 1 日 (木)

講演「子どもの根っこを育てるために大切なこと」

(4) 広報調査委員会

会 議 2 回

広報「保育よこて」第 36 号発行 (10 月)

広報「保育よこて」第 37 号発行 (3 月)

(5) 横手市との協議会 5 月 17 日 (金)

「こどもまんなか応援サポーター宣言」について

(6) 市長への要望書提出 6 月 4 日 (火)

「障がい児保育事業ならびに年度途中入所児に関する

職員配置に伴う人件費に係る要望書」

湯沢地区保育協議会【湯沢・雄勝】

会長 岩川 明子
(いわさきこども園 園長)

当地区は湯沢市・羽後町・東成瀬村の14施設で構成されており、会員の資質向上と地域に根差した保育を目指し保育士会と連携を取りながら活動をしています。

令和6年度の事業内容は地域の感染状況等により延期せざるを得ない研修もありましたが、予定していた内容の研修を行うことができました。諸会議と研修会の内容は次の通りです。

1. 諸会議の開催

○湯沢市雄勝郡保育協議会 児童福祉功労者表彰 8名

- ・湯沢雄勝保育士会 被表彰者 8名

○総会 4月24日(水)

- ・事業報告と事業計画、予算審議
- ・演題「幼保小の架け橋プログラムの実施に向けて」
- ・講師 秋田県教育庁南教育事務所幼保推進班 主任指導主事 佐藤 伸剛 氏

○役員会 8月21日(水)

- ・施設長研修、主任保育士研修、その他について
- ・秋田県保育研究大会発表報告(湯沢こども園)
- ・情報交換(各園の状況報告)

○四役会議 5月31日(金)、2月3日(月)、3月6日(木)

- ・各種事業の詳細について ・総会について

2. 研修の開催

○施設長研修 11月19日(火)

- ・羽後町の施設見学(3施設)
(たしろこども園・子育て支援センター・にしもないこども園)
- ・情報交換(15名参加)

○保育士研修会 11月21日(木)

- ・講師 優しい森のポロ 児童発達支援ルミウス 児童指導員 宮原 圭子 氏
「特別な支援を必要とする子の
背景理解と具体的な支援について」(24名参加)



○主任研修会 12月18日(水)

- ・講師 フラワーショップ和 岩村 和子 氏
「フラワーアレンジメント」
- ・情報交換 (22名参加)



○給食担当者研修 (9/5→延期 1/7)

- ・「そば打ち体験」 道の駅 うご 端縫いの郷
- ・情報交換 (23名参加)



2. 会報「のび」2月発行

表彰おめでとうございます

厚生労働大臣表彰

◇社会福祉事業従事功労者

浅石 雪子 (花輪にこにこ保育園・保育士)

大谷 喜美子 (能代市第一保育所・保育士)

小原 悦子 (内小友保育園・保育士)

全国社会福祉協議会

◇全国社会福祉協議会会長表彰

(福祉施設功労者)

福田 育子 (大曲駅前こども園・園長)

佐藤 美詠子 (はなだて保育園・園長)

武藤 吉克 (樽見内保育園・施設長)

(永年勤続功労者)

菅原 美枝子 (あおぞらなないろ園・教頭)

伊藤 ゆかり (本荘保育園・主任保育士)

鈴木 葉子 (ひかり保育園・園長)

阿部 昌子 (にかほ保育園・園長)

長谷川 真由美 (八郎潟たいようこども園・教育・保育アドバイザー)

全国保育協議会

◇全国保育協議会会長表彰

吉田 美智子 (毛馬内保育園・園長)

九嶋 洋子 (轟保育園・園長)

全国私立保育連盟

◇全国私立保育連盟 保育功労表彰

真坂 ひとみ（風の子保育園・園長）

高橋 弘美（浅舞感恩講保育園・園長）

日本保育協会

◇日本保育協会永年勤続保育者表彰（施設長）

堀井 祐子（勝平保育園・園長）

佐々木 真理（第一ルンビニ園・園長）

斎藤 玲子（綴子保育園・園長）

森川 真澄（日新保育園・園長）

◇日本保育協会永年勤続保育者表彰（職員）

竹谷 志津子（あおぞらこども園・保育教諭）

高橋 怜子（石脇西保育園・主任保育士）

梶原 真紀子（石脇東保育園・保育士）

佐々木 真由美（風の子保育園・保育士）

柏谷 千悠（勝平保育園・保育士）

佐藤 めぐみ（白梅保育園・保育士）

田村 洋子（鷹巣東保育園・保育士）

佐々木 千枝子（中央保育園・保育士）

佐藤 ひとみ（綴子保育園・主任保育士）

渡邊 亜希子（綴子保育園・保育士）

佐藤 奈緒子（ならやま認定こども園・保育士）

森 麻奈美（ならやま認定こども園・保育士）

渡辺 美紗（にかほ保育園・保育士）

菊地 恵（にしの杜保育園・保育士）

丹尾 麗子（にしの杜保育園・保育士）

池田 ゆう子（日新保育園・保育士）

小松 真知子（ひかり保育園・調理員）

佐藤 恵美子（ひかり保育園・保育士）

佐藤 睦子（ひかり保育園・保育士）

小松 智恵（本荘保育園・事務職員）

東海林 麻衣子（本荘保育園・保育士）

大澤 裕子（みいりの保育園・保育士）

高橋 恵美子（みいりの保育園・保育士）

藤川 景子（みいりの保育園・保育士）

小川 世知子（もとにしこども園・保育教諭）

佐々木 和恵（いわさきこども園・調理員）

茂木 節子（にしもないこども園・主幹保育教諭）

五十嵐 美恵子（みたけこども園・保育教諭）

斎藤 かおり（みたけこども園・保育教諭）

鈴木 まゆみ（みわこども園・主任保育教諭）

八柳 琢美（もりやまこども園・保育教諭）

秋田県知事表彰

◇社会福祉施設の長及び従事者功労

小田原 奈緒子（牛島ルンビニ園・事務員）

藤原 恵子（あおぞらなないろ園・主幹保育教諭）

秋田県社会福祉協議会

◇秋田県社会福祉協議会会長表彰（社会福祉功労）

小松 智恵（本荘保育園・事務職員）

佐々木 真由美（風の子保育園・副主任保育士）

佐藤 恵美子（ひかり保育園・保育士）

佐藤 睦子（ひかり保育園・副主任保育士）

東海林 麻衣子（本荘保育園・保育士）

小松 美和子（藤木保育園・園長補佐）

柴田 真央（大曲中央こども園・主任保育教諭）

岩本 美花子（七日市保育園・園長）

九嶋 明希子（七日市保育園・副主任保育士）

佐藤 美由紀（七日市保育園・副主任保育士）

堀内 歩（七日市保育園・主任保育士）

◇秋田県社会福祉協議会会長表彰（永年勤続功労）

伊藤 久美子（あおぞらなないろ園・指導保育教諭）	鈴木 智佳子（あきた保育園・主席主任保育士）
大日向 久美子（樽見内保育園・事務職）	伊藤 育子（おがち保育園・主幹保育教諭）
佐藤 公美子（おがち保育園・保育教諭）	永井 瑞子（深堀保育園・保育士）
佐藤 美沙子（石沢保育園・副主任保育士）	鈴木 咲由理（内越保育園・保育士）
仁部 幸（石脇東保育園・園長）	藤田 純子（内越保育園・主任保育士）
保科 美和（石脇北保育園・園長）	櫻庭 真貴子（追分保育園・園長）
今野 まい子（にかほ保育園・保育士）	佐藤 千夏子（にかほ保育園・主任保育士）

全国保育士会

◇全国保育士会感謝状

佐藤 美津子（毛馬内保育園・副園長）	佐々木 美由紀（毛馬内保育園・主任保育士）
木村 真由美（毛馬内保育園・看護師）	中村 詩子（八幡平なかよしセンター・保育士）
倉田 光世（小坂マリア園・保育士）	田中 知恵子（城南保育園・保育士）
浅井 千尋（たしろ保育園・保育士）	藤島 麻有子（米内沢保育園・保育士）
赤木 泰子（能代市第一保育所・保育士）	吉田 友美（山本保育園・主任保育士）
平川 潤子（山本保育園・保育士）	平塚 しおり（もりやまこども園・保育教諭）
伊藤 佐輝子（八郎潟たいようこども園・主任保教諭）	種村 智子（川添保育所・保育士）
池田 ゆう子（日新保育園・保育士）	柏谷 千悠（勝平保育園・保育士）
千葉 美香（あきた保育園・副主任保育士）	鎌田 明子（ならやま認定こども園・保育士）
長谷部 美智子（かんば認定こども園・保育士）	鈴木 麻美（グリーンローズ保育園・保育士）
小松 静佳（グリーンローズ保育園・保育士）	佐野 直美（こひつじ保育園・主任保育士）
高橋 絵美里（こひつじ保育園・栄養士）	藤沢 美貴子（こひつじ保育園・副主任保育士）
小白川 千尋（こひつじ保育園・保育士）	東海林 麻衣子（本荘保育園・保育士）
佐藤 睦子（ひかり保育園・副主任保育士）	佐藤 恵美子（ひかり保育園・保育士）
梶原 真紀子（石脇東保育・保育士）	高橋 怜子（石脇西保育園・主任保育士）
佐々木 千枝子（中央保育園・保育士）	渡辺 美紗（にかほ保育園・保育士）
幸林 祥子（白百合こども園・保育教諭）	菅原 優（明星こども園・保育教諭）
畑沢 智子（星城こども園・保育教諭）	笹渕 織恵（白岩小百合保育園・主任保育士）
千葉 貴美子（角館西保育園・主任保育士）	新田 恵美子（仙南すこやか園・保育教諭）
藤川 景子（みいりの保育園・保育士）	高橋 恵美子（みいりの保育園・保育士）
大澤 裕子（みいりの保育園・保育士）	菊地 恵（にしの杜保育園・保育士）
藤原 満里子（さんない保育園・保育士）	高橋 恵（さんない保育園・保育士）
古関 恵子（深堀保育園・保育士）	佐藤 幸子（にしもないこども園・主任保育教諭）

[全私保連推奨] 各種団体保険制度



有限会社ゼンポ



公益社団法人
全国私立保育連盟



東京海上日動

ほいくのほけん・こどもえんのほけん

保育施設向け 4月1日～1年間（中途加入可能）

Web
加入
可能

「園賠償責任保険」「園児団体傷害保険（学校契約団体傷害保険）」
「職員団体傷害保険（総合生活保険）」など、保育施設における最大
リスクを補償する1番の主力保険制度です。

やくいんのほけん

社会福祉法人向け 8月1日～1年間（中途加入可能）

Web
加入
可能

社会福祉法人の役員の業務遂行に関する賠償リスクやマスコミ対応費
用等のレピュテーションリスクに加えて、雇用関連トラブルによる法人
への賠償リスクもオプション付帯可能な保険制度です。

えんじのほけん

在園児向け商品 4月1日～自動更新（中途加入可能）

Web
加入
可能

「園内外問わず24時間おさまをお守りする傷害保険」「扶養者に万が一
の場合の育児費用補償」など手厚い補償内容に加え、一般的な保険商品
と比較して約65%の割引となっているため非常に割安な保険制度です。

しょうがくせいのほけん

卒園児向け商品 4月1日～自動更新（中途加入可能）

Web
加入
可能

24時間のおケガ等からお守りにすることに加え、学校からの貸出タブレットを
含め個人賠償責任保険など卒園後のリスクを補償します。本商品も一般的な
保険商品と比較して約30%の割引となっているため割安な保険制度です。

取扱
代理店

有限会社ゼンポ

TEL : 03-3865-3881
FAX : 03-3865-2806



引受
保険会社

東京海上日動火災保険株式会社

担当課支社：公務二部 文教公務室 TEL : 03-3515-4134

このご案内は施設賠償責任保険・生産物賠償責任保険・学校契約団体傷害保険特約付帯傷害保険・会社役員賠償責任保険・レピュテーション費用保険（レピュテーション費用特約条項付 費用・利益保険）・雇用関連賠償責任保険の概要・団体総合生活保険（傷害保険）の概要についてご紹介したものであり、全ての事項を記載しているものではありません。保険の内容は各保険制度のパンフレットをご覧ください。また、ご加入にあたっては、必ず「重要事項説明書」をよくお読みください。詳細は契約者である公益社団法人全国私立保育連盟にお渡しする保険約款によりますが、ご不明点がありましたら、取扱代理店または保険会社までお問い合わせください。

連絡先



公益社団法人全国私立保育連盟指定 / 東京海上日動火災保険株式会社代理店

有限会社ゼンポ

TEL 03-3865-3881
FAX 03-3865-2806

〒111-0051 東京都台東区蔵前4-11-10全国保育会館4階

無制限の動画や写真を通して、園と保護者の絆を深める連絡アプリ

全国私立保育連盟推奨（総代理店）



「きっずノート」は長く使い続けていただけるよう

初期費用0円・追加料金一切なし

すべての機能使い放題 /
月額 5,500円(税込)のみ

無料体験実施中! → お申し込みは
こちら



ご相談・ご質問はお気軽に

きっずノートサポートセンター

TEL 03-3865-3886

「保育あきた」編集後記

春の日差しが心地よい季節になりました。早いもので、令和6年度も残すところわずかとなり、各園でも新年度に向けお忙しい日々をお過ごしのことと思います。

今年度も広報活動へのご理解ご協力を受け賜りまして厚く御礼申し上げます。お蔭様で今年度の活動を終えることができ、また、2年の任期を終えようとしております。

広報部員として活動に携わることができ、たくさんの皆様と出会う機会をいただきました。全てが学びにつながる貴重な2年間でどうもありがとうございました。

(N. S)

広報部

担当副会長 岸 大助 (湯沢こども園)

部長 川嶋 博英 (子吉保育園)

副部長 佐川 ひとみ (幼保連携型認定こども園 ふじ)

” 津村 侑弥 (明照保育園)

部員 仲塚 鈴香 (脇本保育園)

” 大門 ヒサ子 (こどものくに保育園)

” 鈴木 千佳子 (前田保育園)

” 西村 優子 (みたけこども園)

” 南部 芳道 (金沢保育園)

” 鈴木 直子 (にこにここども園)